



Plextor CD-ROM, CD-R/RW ドライブユーティリティ

Plextor Manager 2000

ユーザーズ・マニュアル

v1.02

はじめに

Plextor は、事前の通知なしに本マニュアルに記述された製品に改良を加える権利を有します。

Plextor は、内容に商品性、使用目的について適切性の黙示的保証の責任を負いません。さらに、Plextor はいかなる個人にも組織にも事前に通知することなしに本マニュアルの内容を改定または変更する権利を有します。

本マニュアルは著作物です。Plextor の事前の了解なしに本マニュアルをバックアップ、フォトバックアップ、翻訳、また電子媒体やコンピュータが直接読み取れる媒体に変換することはできません。

マニュアル copyright ©1999 Plextor Corporation

ライセンスおよび商標登録

すべてのライセンスおよび商標登録はそれぞれの所有者に所属します。

目次

1, Plextor Manager 2000 **6ページ**

動作環境

Plextor Manager 2000 アプリケーションについて

MVP 2000

Audio Capture 2000

DiscDupe 2000

高性能ドライブ・プロパティ

AudioFS

2, Plextor Manager 2000 のインストールと起動 **10ページ**

Windows 98 あるいは Windows 95 へのインストール

Windows NT へのインストール

Plextor Manager 2000 アプリケーションの起動

Plextor Manager 2000 のアンインストール

3, MVP 2000 の実行 **15ページ**

MVP 2000 のアプリケーションの操作

デフォルト・ドライブの選択

CD/DA プレイヤーを使用して音楽 CD を再生

デジタル・ファイルの再生 (オーディオおよびビデオ)

File Associations のビューイングあるいは変更

Graphics Display の表示

CD-R への書込み

デジタル音楽を CD-R あるいは CD-RW へ書込み

音楽 CD の作成時にテスト・モードの使用

Playlist の作成と使用

Playlist の操作

Playlist の作成

Playlist の配列

Playlist の保存

Playlist を開く

Playlist を使用した書込み

CDDB を使用する

CDDB に必要なこと

CDDB の情報を検索し閲覧する

CD 情報をシステムに保存する

4. Audio Capture2000 を実行する 26ページ

Audio Capture2000 のアプリケーション操作

ドライブを選択する

音楽トラックを WAV ファイルにキャプチャする

マルチプル・トラックを選択する

音質を指定する

Error Correction を指定する

5. DiscDupe2000 を実行する 30ページ

DiscDupe 2000 のアプリケーション操作

CD から CD に複写する

PlexWriter が 1 台しかない場合のバックアップ

DiscDupe 2000 のオプションを使用する

一時イメージを使用する

イメージを使用する

スピードを選択する

Emulate/Test

バックアップしたディスクを確認する

バックアップの仕組み

6. 高性能ドライブ・プロパティを使用する 34ページ

高性能ドライブ・プロパティの表示方法

高性能プロパティに関して

Settings タブ

Details タブ

7. AudioFS を使用する **37ページ**

AudioFS の利点

AudioFS を使用可にする

音声のバックアップに AudioFS を使用する

AudioFS を使用不可にする

デジタル・オーディオに USB スピーカーを使用する

なぜデジタル・オーディオを使用するのか？

USB デジタル・オーディオを使用するには

Windows 95 ユーザーと AudioFS WAV ファイル

Windows 95 サウンド・ユーティリティ

Sound Recorder の明白な問題

デフォルト・プレイヤーに変更する

8. お問い合わせ先 **42ページ**

Plextor Manager 2000

Plextor Manager 2000 は Plextor CD-ROM および CD-R/RW のドライブを最大限に活かすための画期的なソフトウェア・アプリケーション・セットです。Plextor Manager 2000 はお手軽に機能を追加し、より簡単にご利用いただけます。Plextor Manager 2000 の内容をご覧ください。

- MVP 2000:MP3 のサポートを含め、お持ちの Plextor CD-ROM、CD-R/RW ドライブの利点を活かすために設計された音楽 CD・Wave ファイル、MP3 などの再生、及び CD-R/RW への書き込みを可能にするアプリケーションです。
- Audio Capture 2000:CD からお持ちのハードディスクに音楽をキャプチャするために欠かせないソフトです。
- DiscDupe 2000:お持ちの音楽、データの CD のバックアップを行います。
- ドライブ・プロパティ:コントロールを強化し、ドライブとディスクの情報を表示します。
- AudioFS:お持ちの音楽 CD を WAV ファイル(データ)の形式で表示します。

推奨動作環境

Plextor Manager 2000 の動作環境は、以下の通りです。

- ・ ハードウェア:パーソナル・コンピュータ(マッキントッシュあるいは UNIX は動作しません)
- ・ OS:Windows 95、98 または NT
- ・ CPU:Pentium133MHz (MP3から CD-DA 音楽 CD を作成する場合は Pentium II -333MHz 以上をお奨めします。)
- ・ メモリー:64 MB
- ・ サウンド・カード
- ・ グラフィックス:Super VGA
- ・ SCSI コントローラー:PCI Bus マスタリング
- ・ Plextor ドライブ:再生用に CD-ROM、CD-R/RW ドライブ。書き込み用に CD-R/RW ドライブ

サポートされている Plextor ドライブのモデルは:

- ・ CD-ROM ドライブ:PX-4XCE、PX-8XCS またはそれ以上のモデル
(DM シリーズ、PX-4xCH、PX-4xCS、PX-6xCS は対応していません。)
- ・ CD-R/RW:PX-R412C、PX-R820T、PX-W4220T、PX-W8220T

1.Plextor Manager 2000 について

以下では Plextor Manager 2000 の主要機能を説明します。

MVP 2000

MVP 2000 は、Plextor CD-ROM や CD-R/RW を使って音楽 CD、WAVE ファイル、MP3などの再生、及び CD-R/RW ディスクへの書き込みを可能にする Windows 用アプリケーションです。MVP2000 には、以下のような特徴があります。

総合再生コントロール:再生、停止、一時停止、イジェクト書込、後退、前進、スキップ。

- ・ CD-DA、A/V プレイヤー・モード:様々なデジタル・フォーマットをサポート。MP3、WAV、CDA、AVI、MPEG 等のフォーマットの再生。MP3、WAV、のデジタル音声データを CD-DA に変換し直接 CD-R に書き込み音楽 CD を作成することが可能です。書き込まれた CD は、一般の CD プレイヤーまたコンピュータの音楽 CD プレイヤーでの再生が可能です。(CD-RW ディスクは除く)

- ・ グラフィック・ディスプレイ:再生に合わせて音の波形を表示します。

- ・ 総合ディスプレイ:タイトル、トラック、時間、その他の情報を表示します。再生中にこのウィンドウをダブルクリックすると時間表示がカウントアップからカウントダウンへと変わります。

- ・ CDDB 情報:MVP 2000 は、世界最大の音楽 CD 情報のオンライン・データベースである CDDB にリンクしており、CD の再生中にアルバム、アーティスト、曲名をスクリーン上に表示します。CDDB データベースは、商業目的で製造された音楽 CD の情報を網羅しています。

- ・ デジタル CD-DA の再生:CD-DA モードでの音楽 CD はすべて SCSI バスを経由して、より鮮明で高音質にデジタル再生されます。

Audio Capture 2000

Audio Capture2000 は、音楽 CD から音楽トラックを抽出してコンピュータのハードディスクにセーブします。抽出された音楽トラックは WAV ファイルとして保存されます。

Audio Capture 2000 の特徴は以下の通りです。

- ・ 総合的なトラック情報:トラック選択ウィンドウには、ソースとなるディスク情報の一覧が表示されます。ダブル・クリックで個々のトラックの取込や複数のトラックの選択ができます。

- ・ 音質の選択:CD 音質 (44kHz サンプリング、16 ビット・ステレオ)か他の音質が選べます。Audio Capture 2000 は、44kHz、22kHz、11kHz のサンプリング比、8 ビットと 16 ビットの解像度、ステレオとモノラル音声をサポートしています。

- ・ エラー修正:粗製のソース・ディスクやスクラッチ、指紋等が原因の雑音を取り除くために、必要に応じてエラー修正を設定して下さい。

DiscDupe 2000

DiscDupe 2000 は、CD バックアップソフトです。使い方が簡単で機能満載のインターフェースにより、いくつかの方法でディスクのバックアップができ、データ・ディスクまたは CD-Audio ディスクのバックアップが可能です。

DiscDupe 2000 の特徴は、以下の通りです。

- ・ Disc to Disc のバックアップ:PlextorCD-ROMドライブから Plextor CD-R/RWドライブに直接バックアップすることができます。
- ・ Disc to Image および Image to Disc: CD を丸ごとハードディスクにバックアップし、そのディスクイメージを保存します。更にそのディスクイメージを必要に応じて CD-R または CD-RW へバックアップを行います。
- ・ ドライブ 1 台でのバックアップ:Plextor の CD-R または CD-RW ドライブを 1 台しかお持ちでない場合は、DiscDupe 2000 がハードディスク上のテンポラリー・ファイルにディスクイメージを作成し、次にハードディスクから CD-R にそのディスクイメージの書込みを行います。従って CD-R/RW1台を読出しドライブと書込みドライブとして使うことが可能です。

高性能ドライブ・プロパティ

Plextor Manager 2000 をインストールすることにより、マイ・コンピュータまたは Windows エクスプローラ内の Plextor ドライブのアイコンを右クリックすると、表示されたプロパティ・メニューに新しく追加された PlextorManager2000 の設定機能表示がされます。

- ・ Setting タブ:AudioFS の機能の ON/OFF、スピンドアウンのタイムアウト設定、ドライブの読み込み速度の設定、セキュリティのために Plextor ドライブのイジェクト・ボタンのロック/アンロック、そしてバランスと音量の設定がダイアログ・ボックスから行えます。
- ・ Details タブ:Plextor の CD-ROM、CD-R、または CD-R/RW ドライブについて、型番、シリアル番号、ロード済みの SCSIドライブ ASPI バージョン、その他の詳細を表示します。また、ディスク・フォーマット、セッション数、データおよび音楽トラック数等、ドライブ内のディスク情報を表示します。

AudioFS

AudioFS は Plextor Manager 2000 をインストールするとデフォルトで使用可に設定されます。AudioFS は、音楽 CD (Red Book CD-DA フォーマット・ディスク) 上のすべてのトラックを Windows 95 および 98 上に WAV ファイルとして自動的に表示します。AudioFS を使用することにより以下のような利点があります。

- 簡単にすばやく音声を WAV フォーマットに変換するため、音楽トラックをハード・ディスクへそのままドラッグ・アンド・ドロップすることが可能です。
- AudioFS を通して音楽 CD から直接トラックにアクセスできるようになるので、ハード・ディスクに大量の WAV ファイルを保存しておく必要がなくなります。
- 音楽編集、エンコーディング、音楽 CD の編集が容易になります。

2. Plextor Manager 2000 のインストールと起動

本項目では、Plextor Manager 2000 のインストール方法を説明します。

PlextorManager2000 をインストールする前に

PlextorManager2000 をインストールする前に Windows95/98 の場合、OS に含まれる以下のファイル(ASPI レイヤー)の Version を確認して下さい。v4.57 以前のものであれば ASPI レイヤーの更新が必要です。ASPI レイヤーの Version が古い場合 PlextorManager2000 は正常に動作いたしません。ASPI レイヤーはアダプテック社のサイトよりダウンロードが可能です

ASPI レイヤー : APIX.VXD ASPIENUM.VXD WNASPI32.DLL WINASPI.DLL

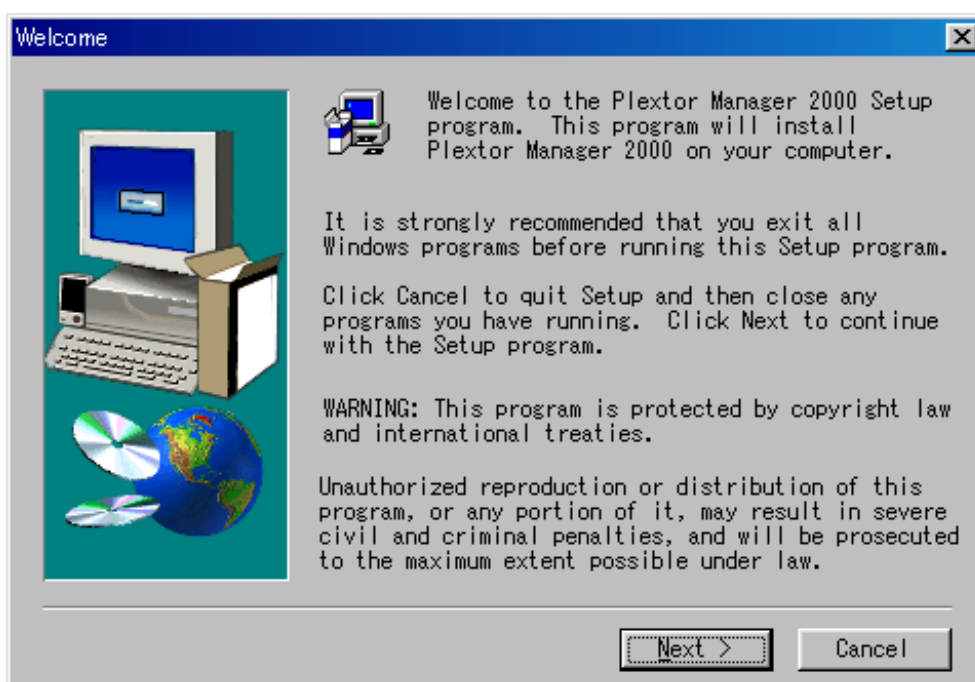
Windows 98 または Windows 95 へのインストール

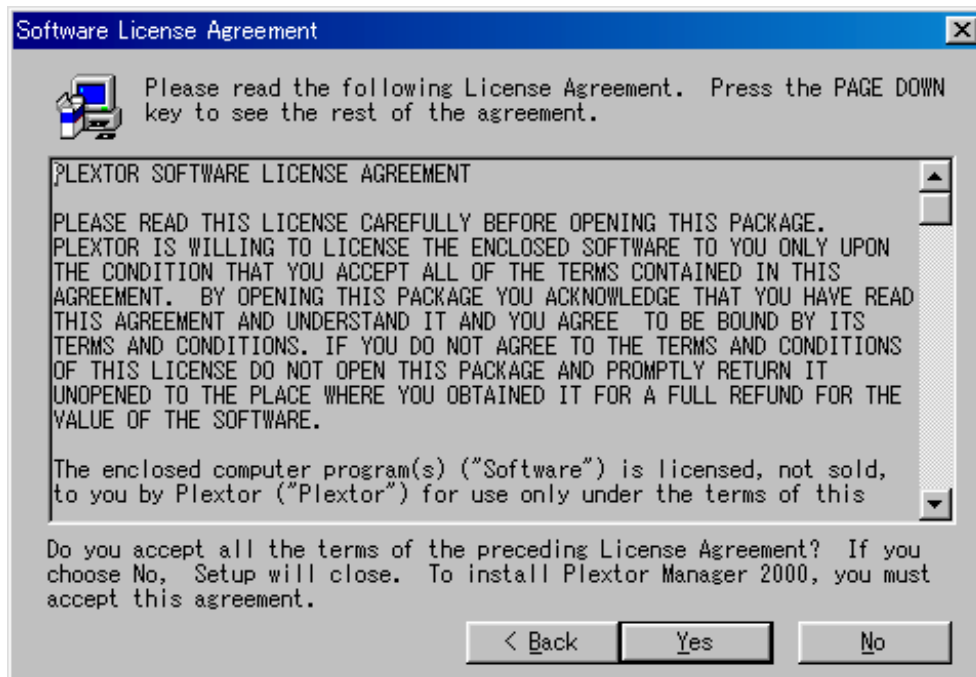
Plextor Manager 2000 の Windows 98 または Windows 95 へのインストール方法:

1. タスクバーにある PlextorManager96 のアイコンを終了させて下さい。
2. ホームページからダウンロードした pm2k_101.exe を実行するとメニューが起動します。
3. 指示に従いボタンをクリックすると以下の問い合わせがあります。
4. はい (Y) を選択してハードディスク内にある PlextorManager96 を削除します。

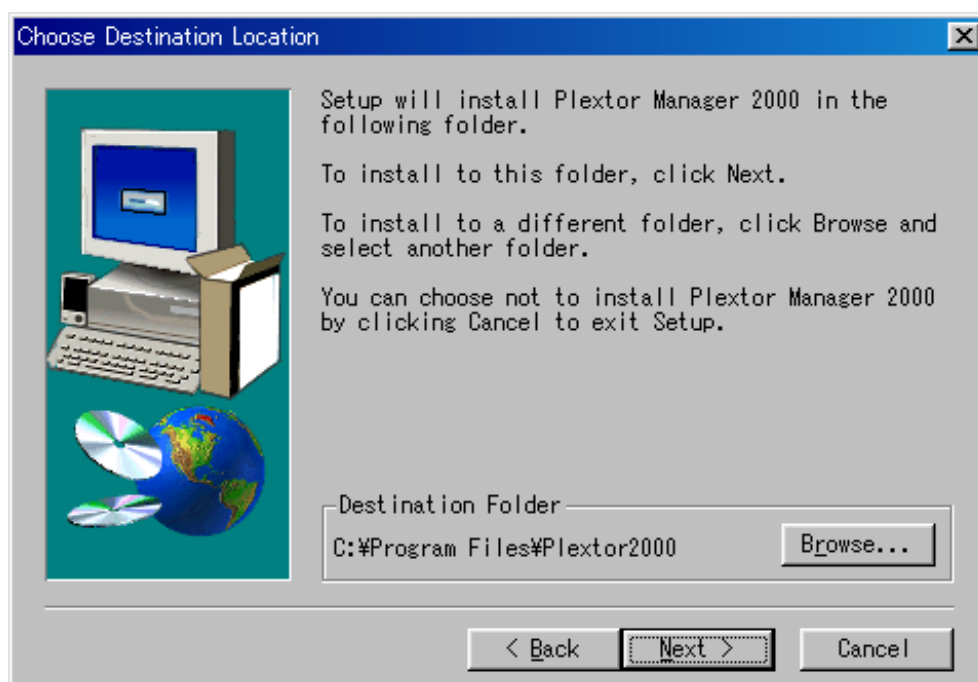


5. 削除が終了すると今度は以下の PlextorManager2000 のインストールに移ります。
6. Next をクリックして下さい。

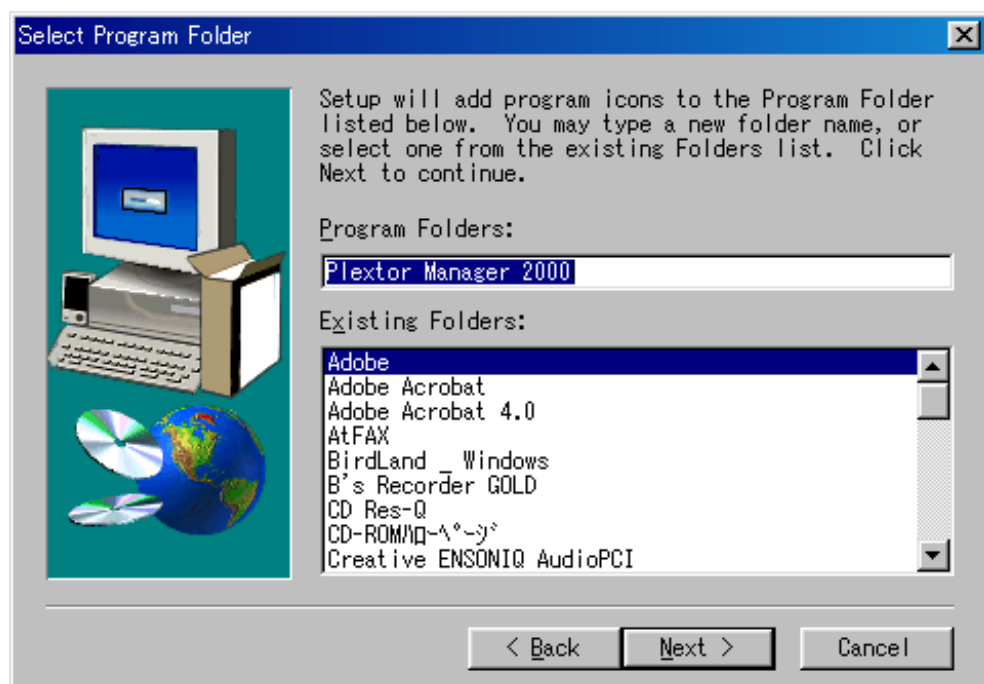




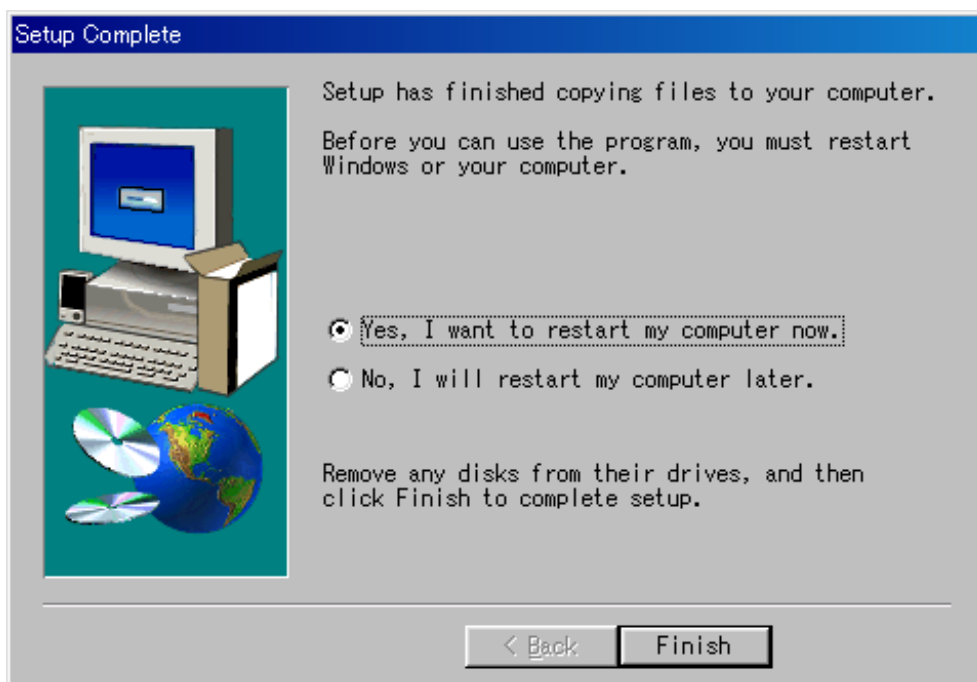
7 , Yes をクリックして次ぎへ進んで下さい。



8 , PlextorManager2000 をインストールする場所を指定します。よろしければそのまま Next をクリックして下さい。



9 , フォルダー名を聞いてきますのでよろしければ Next をクリックして下さい。インストールを開始します。



10 , PlextorManager2000 を有効にするにはパソコンの再起動が必要です。再起動をする場合はそのまま Finish をクリックして下さい。

Windows NT へのインストール

Plextor Manager 2000 の Windows NT へのインストール方法:

- ・上述の Windows 98 または Windows 95 へのインストール方法に従います。

Plextor Manager 2000 の Windows NT へのインストールは、PlextorManager2000 自体の ASPI manager を Windows NT にインストールします。Windows 98/95 とは異なり、Windows NT には ASPI manager がありません。PlextorManager2000 の ASPI manager をインストールすることで、Plextor Manager 2000 及び ASPI manager が必要な(しかしソフトウェア自体には ASPI manager が付いていない)その他のソフトウェアの機能を活用することができます。

記:ASPI manager が Windows NT システムにインストール済みの場合には、Plextor Manager2000 は ASPI manager をインストールせずに、インストール済みの ASPI manager を使用します。

インストールして再起動すると、Plextor アイコンがスクリーンの右下の Windows タスクバーに表示されます。この機能は、Windows 95/98/NT に対応しています。

記:Plextor Manager 2000 は、システム内にあるすべての Plextor ドライブ用に CD ドライブ・アイコンをインストールし、更新します。この更新は、ソフトウェアのインストール後にパソコンを再起動して初めて有効となります。新しいアイコンが、マイコンピュータ及びウィンドウズのエクスプローラに表示されます。この機能は、Windows 98、もしくはインターネット・エクスプローラ 4.0(ないしは、それ以降のソフト)をインストールしている Windows95/NT のシステムに限り利用可能です。

また、システムを起動するたびに、Plextor Manager 2000 のスプラッシュ・スクリーンが表示されます。デフォルトとして、このスクリーンは Plextor Manager 2000 によってインストールされています。スクリーンは、MVP 2000 のオプションで使用不可にすることもできます。

Plextor Manager 2000 のスプラッシュ・スクリーンを使用不可にする方法:

1. MVP 2000 を起動します。
2. オプション・ボタンをクリックします。
3. 「General tab」をクリックします。
4. 「Display splash screen on system startup」ボックスのチェックを外します。
5. 「OK」ボタンをクリックして、オプションのダイアログボックスを終了します。
6. MVP 2000 を終了します。

Plextor Manager 2000 の起動

Plextor Manager 2000 の起動方法:

- タスクバーの右下にある Plextor アイコンをクリックして、実行するアプリケーションを選択します。
- または—
- スタートボタンをクリックして、「プログラム」の Plextor Manager 2000 を選択し、アプリケーションを選択します。
- または—
- マイコンピュータまたは Windows のエクスプローラで Plextor ドライブ・アイコンを右クリックして、Plextor Manager 2000 によって加えられたメニュー・アイテムから、実行します。このメニュー・アイテムには MVP 2000 と共に、Copy CD が含まれています。一部のメニュー・アイテムは、ディスクが Plextor ドライブにセットされている場合にのみ、利用が可能です。

Plextor Manager 2000 をアンインストール

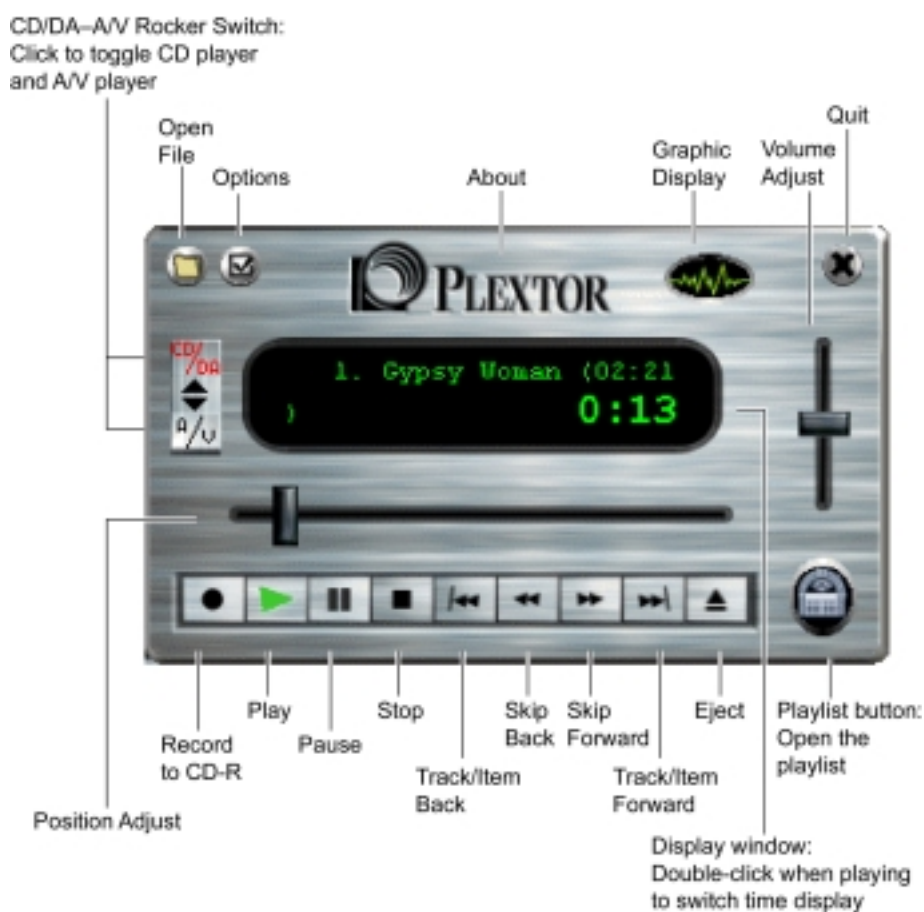
Plextor Manager 2000 のアンインストール方法:

1. Windows のタスクバーの Plextor アイコンを右クリックして、アイコンを消去します。
2. Windows のスタートメニューで、「設定」から「コントロールパネル」を選択します。Windows のコントロールパネルが表示されます。
3. 「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」のプログラムを選択します。インストール/アンインストールのダイアログボックスが表示されます。
4. ダイアログボックスのプログラム・リストにある Plextor Manager 2000 を選択します。続いて、「追加と削除」をクリックして、アプリケーションの削除の説明に従います。

MVP 2000 の実行

MVP 2000 (ミュージック・ビデオ・プロデューサー 2000) は Plector ドライブを使用して、音楽とビデオファイルが楽しめます。CD-R/RW のドライブをご利用の方は、ご自身の Playlist から音楽 CD の作成も可能です。

MVP 2000 のアプリケーション操作



- **CD/DA-A/V Rocker Switch:** CD/DA は音楽 CD からオーディオファイルを再生します。A/V は Playlist や個別ファイルからデジタル・オーディオまたはビデオを再生します。
- **Open File button:** 一覧ウィンドウから再生するデジタル・オーディオまたはビデオファイルをクリックで選択します。
- **About bar:** アプリケーションに関する情報をクリックで表示します。
- **Graphic Display icon:** クリックすると、Graphic Display のウィンドウを開きます。もう一度クリックすると、ウィンドウが閉じます。GraphicDisplay のウィンドウの内側をクリックすると、表示形式が変わります。

- **Volume Adjust bar:** 音量を調節します。
- **Quit button:** MVP 2000 のウィンドウを閉じます。
- **Playlist button:** クリックすると、Playlist のウィンドウを開きます。もう一度クリックすると、ウィンドウが閉じます。
- **Display window:** タイトル、トラック、時間などの情報を表示します。再生中、このウィンドウをダブル・クリックすると、時間の表示がカウントアップからカウントダウンに切り替わります。
- **Playback controls:**
 - Record to CD-R button:** CD-R や CD-RW ディスクに書き込みを始めます。
 - Play button:** 現在のデジタル・ファイル、Playlist、音楽 CD トラックの再生を始めます。
 - Pause button:** 再生を一時停止します(ファイルまたは音楽 CD の現在の位置から再生されます)。
 - Stop button:** 再生を停止します(同一ファイルまたは音楽 CD トラックの最初から再生されます)。
 - Track/Item Back button:** クリックすると、前の CD トラックまたはデジタル・ファイルに移ります。
 - Skip Back button:** 音楽 CD トラックまたはデジタル・ファイルを巻き戻します。
 - Skip Forward button:** 音楽 CD トラックまたはデジタル・ファイルを早送りします。
 - Track/Item Forward button:** 次の音楽 CD トラックまたはデジタル・ファイルに移ります。
- **Position Adjust slider:** ドラッグすることで、音楽 CD トラックまたはデジタル・ファイル内の再生位置を調節します。

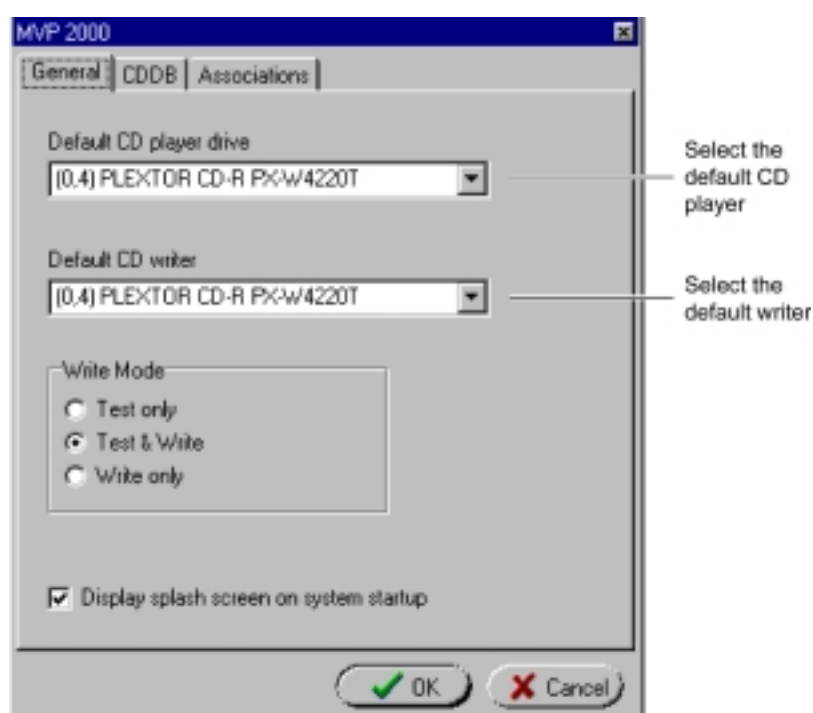
※MVP2000 はパソコンにサウンドボードが内蔵されていないと実行できません。また、DSP ボードが内蔵されている IBM のアプティバの機種では MVP2000 をご使用できません。対象製品の場合は MVP2000 の Option を開き以下の関連付けを全て外し、Windows を再起動して下さい。以後、MVP2000 をご使用なされないようお願いいたします。DSP ボードが内蔵されたパソコンで MVP2000 を使用すると再生時にノイズが入ります。



デフォルト・ドライブの選択

MVP 2000 のデフォルト・ドライブの選択方法:

1. MVP 2000 のメインスクリーン上でオプションボタンをクリックすると MVP 2000 のオプションタブが表示されます。
2. 「General tab」をクリックして、「general」のオプションを表示させます。
3. 上部のドロップダウン・リストボックスから、再生に使用するデフォルトの Plextor ドライブを選択します。
4. 下部のドロップダウン・リストボックスから、CD-R や CD-RW ディスクへの書き込みに使用するデフォルトの CD-R/RW を選択します。



Player と writer を同一ドライブで指定することもできます。

CD/DA Player を使用して音楽 CD を再生

音楽 CD の操作方法:

1. 音楽 CD を Plextor ドライブにセットします。
2. MVP 2000 のメインウィンドウの「CD/DA-A/V rocker switch」をクリックして、CD/DA(上)部に切り替えます。
3. 「Play」ボタンをクリックします。

デジタル・ファイルの再生(オーディオおよびビデオ)

デジタル・オーディオおよびビデオファイルの操作方法:

1. MVP 2000 のメインウィンドウの「CD/DA-A/V rocker switch」をクリックして、A/V(下)部に切り替えます。
2. 「Open File」ボタンをクリックして、一覧ウィンドウから再生するファイルを選択します。
—または—
「Playlist」アイコンをクリックして、保存済みの Playlist を呼び出します。
3. 「Play」ボタンをクリックします。

File Associations のビューイングまたは変更

MVP 2000 では、多様のファイル拡張子(ファイル形式)に対応しており、対応した形式であればダブル・クリックするだけでそのファイルの再生が可能です。デフォルトでは、MVP 2000 はインストール時に次のファイル形式(MP3、WAV、CDA、AVI、MPEG video)を要求します。また、音楽 CD フォーマット・ディスク(CD-DA)も同様です。

ファイルやディスクフォーマットの一覧(Association)の表示と変更方法:

1. MVP 2000 ウィンドウのオプションボタンをクリックすると MVP2000 のオプションのタブが表示されます。
2. 「Association」タブをクリックします。Association ダイアログボックスが表示されます。
3. ボックスにチェックマークを入れて、一覧(Association)を使用可にします。あるいはボックスのチェックマークを外して、一覧(Association)を使用不可にします。

新しい一覧の設定は、Windows を再起動後に有効となります。

Graphics Display の表示

トラックの再生時に Graphics Display を表示する方法:

1. 「Graphics Display」のアイコンをクリックします。音楽の再生時にグラフィックのディスプレイが表示されます。
2. 「Graphics Display」のウィンドウの内側をクリックして、ディスプレイ・タイプを変更します。

CD-R への書込み

MVP 2000 には、PlexWriter で CD-R や CD-RW に直接に書込みする機能があります。MP3 ファイル、WAV ファイル、CDA トラックをブランクの CD メディアへ直接書込んで、音楽 CD (CD-DA Red Book フォーマット)を作成することができます。MVP 2000 は自動的にフォーマットを認識し、音楽 CD としてディスクに記録します。作成した音楽 CD は一般の CD プレイヤーまたはコンピュータの音楽 CD プレイヤーで聴くことが可能です。(CD-RW の Disc は不可能です。)

デジタル音楽を CD-R あるいは CD-RW ディスクへ書込み

デジタル音楽を CD-R あるいは CD-RW ディスクへ書込みする方法:

1. PlexWriter に CD-R あるいは CD-RW ディスクをセットします。
2. MVP 2000 のメインウィンドウの「CD/DA-A/V rocker switch」を A/V(下)部にセットします。
3. 「Playlist」アイコンをクリックして、希望の Playlist を作成します。「Add」ボタンを使用して、対応する各種のミュージック・フォーマットを選択します。
4. Playlist が完成したら、「Record to CD-R」ボタンをクリックすると PlexWriter で音楽 CD を書込みます。

記:システム上に実行中の CD-R/RW のソフトウェアがある場合で、ブランクのディスクを挿入すると「Auto Starts」になる場合は、まず最初に、そのソフトウェアが起動するのを待ちます。次に、そのソフトウェアを終了して、MVP 2000 の起動を始めます。こうしたソフトウェアの代表的な例としては、Adaptec 社製の DirectCD があります。「Auto Starts」機能を使用不可にする方法は、そのソフトウェアのマニュアルを参照して下さい。

記:ご使用のシステムのでコーディング・スピードと総合的なパフォーマンスにより、書込みスピードが必ずしも PlexWriter の最高速度に設定されるとは限りません。MVP 2000 はシステムに応じて最も安全な書込みスピードを決定し実行します。

音楽 CD の作成時にテストモードを使用する

CD への正確な書き込みを行うためには CD-R ドライブへの連続的なデータフローが必要となります。システムとソース・ドライブのパフォーマンスは限定要因となる場合があります、良好な書き込みの鍵を握ります。MVP2000 のテストモードによって、書き込みの実行前に書き込みが上手くいくかどうか確認できます。

音楽 CD の書き込みにおけるテストモードの操作方法:

1. MVP 2000 を開きます。
2. MVP 2000 のメインスクリーンのオプションボタンをクリックします。MVP 2000 オプションのタブが表示されます。
3. General タブをクリックして、General のオプションを表示させます。
4. Write Mode セクションの「Test only」を選択します。または、「Test & Write」を選択します(テストモードにする必要がない場合は、「Write only」を選択したままにしておきます)。
5. 「OK」ボタンをクリックして、オプションを終了して MVP 2000 に戻ります。

システム構成を変更した後(新しい SCSI デバイス、新しいハードディスク、新しいソフトウェア、新しい SCSI コントローラーなど)には、テストモードを使用します。これにより、その変更が CD の書き込み能力に影響を及ぼしていないか確認することができます。

ソース・ドライブの状態を評価する場合にも、テストモードが利用できます。例えば、ソース・ドライブが汚れていたり傷がついている CD ディスクで、読み取りが上手くいくかどうかははっきりしない場合にテストモードを使用します。音楽 CD を作成するためにテストモードでは、MVP 2000 へデータを送るのに十分なスピードで CD を読み込むことが可能かどうかを検証します。

Playlist の作成と使用

Playlist によって、自動的に書込みと再生ができます。

Playlist の操作



- **Load Playlist button:** Playlist (.PLL)ファイルの選択と読み込みを行います。
- **Save Playlist button:** 現在の Playlist を「.PLL」ファイルとして保存します。
- **Edit Playlist Entry button:** 選択した Playlist の登録を編集します。
- **Clear Playlist button:** 現在の Playlist からすべての登録を消去します。
- **Add to Playlist button:** デジタル・オーディオまたはビデオファイルを Playlist に追加します。
- **Clear Playlist Entry button:** 選択した登録を Playlist から削除します。
- **Random/Sequential Mode button:** Playlist を再生する random モードと Sequential モードを切り替えます。ボタンが赤い時は Random モード、黒い時は Sequential モードです。

Playlist の作成

Playlist の作成方法:

1. MVP 2000 のメインウィンドウで「CD/DA-A/V rocker switch」を A/V(下)部に設定します。「Playlist」ボタンが使用可能になります。
2. 「Playlist」ボタンをクリックして、Playlist ウィンドウを開きます。空白の Playlist が表示されます。
3. 「Add to Playlist」ボタンをクリックして、追加するファイルを検索し選択します。
—または—
MVP 2000 のメインウィンドウで「Open File」ボタンをクリックして、Playlist に追加するファイルを選択します。
—または—
開いている Playlist のウィンドウにファイルをドラッグ・アンド・ドロップします。
4. その他の追加したいファイルを加えます。

記:最初の選択が行なわれると、そのファイルは自動的に再生されます。停止する時は、MVP 2000 ウィンドウの「Stop」ボタンをクリックします。

Playlist を配列する

Playlist の配列方法:

1. トラックをクリックして上下にドラッグし、再生したい順番、あるいは書込みしたい順番に並べていきます。
2. その他、追加したトラックも同様の方法で、好きなように並べて Playlist を設定します。

Playlist の保存

Playlist の保存方法:

1. Playlist のウィンドウの「Save」アイコンをクリックします。テキストボックスが表示されて、Playlist のファイル名と保存場所が選択できます。
2. テキストボックスで保存するフォルダーに入り、Playlist のファイル名を入力します。ファイルは、「.PLL」の拡張子で保存されます。

Playlist を開く

Playlist の開き方:

1. MVP 2000 のメインウィンドウ「CD/DA-A/V rocker switch」を A/V(下)部にセットします。Playlist ボタンが使用可能になります。
2. Playlist ウィンドウの「Open」アイコンをクリックします。Playlist (.PLL)ファイルがテキストボックスに表示されます。
—または—
「Playlist」アイコンをクリックして、Playlist ウィンドウを開いてから、「Load Playlist」ボタンをクリックします。
3. 開きたいファイル(.PLL)をクリックします。その Playlist が読み込まれて、Playlist のウィンドウに表示されます。

Playlist を使用した書込み

Playlist を使用した書込み方法:

1. PlexWriter に CD-R または CD-RW ディスクをセットします。
2. MVP 2000 のメインウィンドウの「CD/DA-A/V rocker switch」を A/V(下)部に設定します。
3. 既存の Playlist を呼び出します。または既述の操作に従って、新しい Playlist を作成します。
4. 「Record to CD-R」ボタンをクリックして、全ファイルを CD に音楽 CD として書込みます。

CDDB を使用する

CDDB (CD Database)は、インターネットを通じてアクセスする音楽 CD 情報のオンライン・データベースです。Plextor の MVP 2000 は CDDB を利用し、音楽 CD の再生時、スクリーンにアルバム名、アーティスト名、曲名を表示することができます。

CDDB の仕組み:CDDB が MVP 2000 で使用可能な状態で、コンピュータがインターネットに接続されている場合、音楽 CD をセットするたびに、アプリケーションが CDDB にアクセスして、その CD の情報を求めることができます。CDDB は、プレスの CD を含むあらゆる種類の音楽データを洋楽を中心に備えています。

記:CDDB の対象は商業用 CD に限られます。情報はほとんどの洋楽 CD をカバーしており、常に新しい CD を更新しています。

CDDB に必要なこと

CDDB の情報を見るために必要となること:

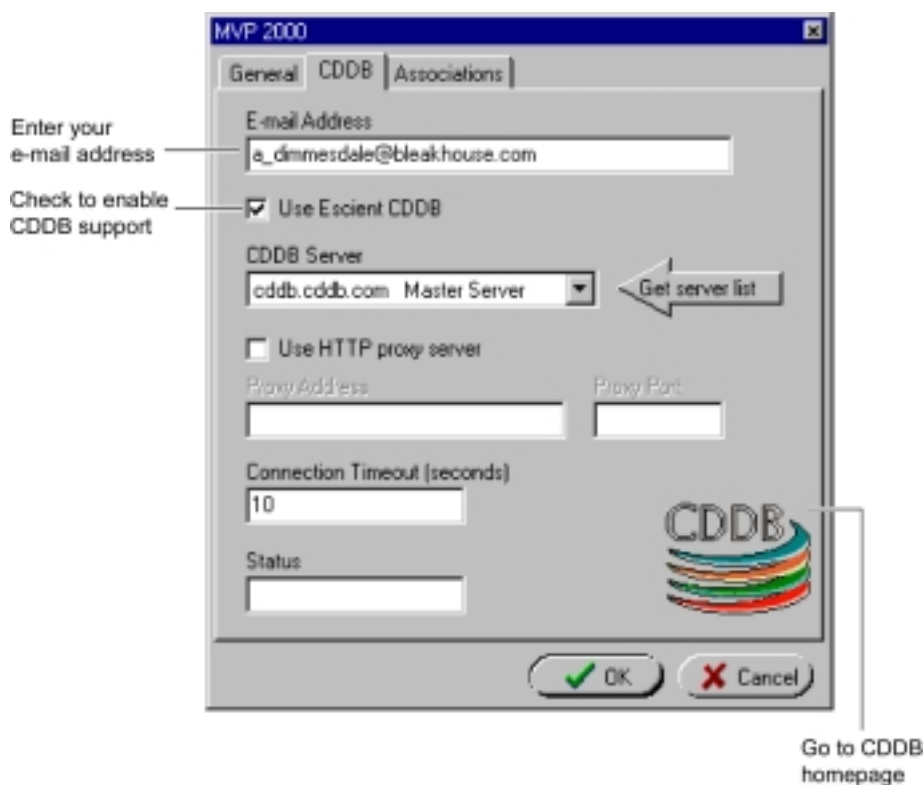
- ・インターネットに接続していること。
- ・ MVP 2000 を開いて実行していること。
- ・ Plextor ドライブに市販の音楽 CD をセットしていること。

インターネットへの接続が必要となるのは、その CD を最初に再生するときのみです。それ以降は、CDDB の情報はハードディスクに小型のデータベースとして保存されます。

CDDB の情報を検索し閲覧する

CDDB 情報の検索と閲覧方法:

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. MVP 2000 を起動します。
3. MVP 2000 ウィンドウの「Options」ボタンをクリックします。MVP2000 オプションのタブが表示されます。
4. CDDB タブをクリックします。CDDB テキストボックスが表示されます。



CDDB データベースへの接続

5. E-mail Address フィールドに、自分の e-mail アドレスを入力します。
6. 「Use Escient CDDB」ボックスをクリックして、チェックマークを付けます。
7. 必要なら、Get Server List と書かれた矢印をクリックして CDDB サーバのリストを開いてから、接続する場所を選択します。
8. CDDB ウィンドウの「OK」をクリックして、CDDB サーバに接続します。
9. 続いて、Plextor ドライブに音楽 CD を挿入します(デフォルト・プレイバック・ドライブが必要でず)接続中のメッセージを知らせる新しいウィンドウが表示されます。MVP 2000 がディスクのデータをダウンロードして、MVP 2000 のディスプレイ・ウィンドウにデータを表示します。アルバム名やアーティスト名などの情報が表示されます。
10. CD の再生時には、曲のタイトルもスクリーン上でスクロールして見られます。
11. CD を取り出し、新しい CD をセットして MVP 2000 の情報を更新します。
12. MVP 2000 に新しい CD の情報の更新を終えたら、再び「Options」ボタンをクリックします。
13. CDDB タブをクリックして、「Use Escient CDDB」ボックスのチェックマークを外します。
14. 「OK」ボタンをクリックして、オプションを終了します。

記: 必要なら、CDDB テキストボックスの「CDDB」アイコンをクリックすると CDDB のホームページに接続されます。インターネット・ブラウザによって、アーティストとアルバムに関する多くの情報を掲載するホームページがご覧になれます。

CD 情報をシステムに保存する

CDDB に接続して一度 CD の情報をダウンロードすればその CD の二回目以降の再生において CDDB に接続しなくても CD の情報は表示されます。

4. Audio Capture 2000 を実行する

Audio Capture 2000 は、直接、音楽 CD から音楽トラックをハードディスクに展開(エクストラクト)して、デジタル WAV ファイルとして保存できます。音楽トラックの保存の際には、音質の修正、マルチプル・トラックかシングル・トラックの選択、トラックの別名保存ができます。また、エラー修正の実行も可能です。

Audio Capture 2000 のアプリケーション操作



- **About bar:** このアプリケーションについての情報を表示します。
- **Track Selection Window:** トラック情報を表示します。また、トラックをクリックすると保存するトラックを選択します。
- **Default Drive drop-down list box:** 音楽トラックをキャプチャする元のドライブを選択します。
- **Capture Track(s) button:** キャプチャを開始します。
- **Error Correction bar:** クリックしてドラッグすると、エラー修正レベルが選択できます (Plextor の CD-R と CD-R/RW ドライブは対応していません)。
- **Audio Quality drop-down list box:** 音質を選びます。
- **Quit button:** アプリケーションを終了します。

ドライブの選択方法:

- Plextor Audio Capture 2000 ウィンドウで Drive Selection ドロップダウンリスト・ボックスをクリックして、ドライブを選択します。

音楽トラックを WAV ファイルにキャプチャする

音楽 CD からハードディスクへの音楽トラックのキャプチャ方法:

1. Audio Capture 2000 を起動します。
2. Default Drive ドロップダウンリスト・ボックスをクリックして、音声をキャプチャするデフォルト・ドライブを選択します。
3. 音楽 CD をドライブに挿入します。Audio Capture 2000 の Track Selection ウィンドウで、CD のトラック情報をご覧になれます。Length フィールドは、トラックの長さ(分と秒単位)及びトラックをハードディスクに WAV ファイルとしてキャプチャする際に必要なファイルサイズを表示します。
4. Audio Quality ドロップダウンリスト・ボックスをクリックして、音声ファイルの音質を選択します。音質レベルによってファイル・サイズが決定されます。
5. Plextor の CD-ROM ドライブをご使用の場合、「Error Correction」バーをクリックしてドラッグすることでエラー修正をします。なお、CD-R/RW ドライブはこの機能に対応していません。
6. Track Selection ウィンドウでトラックをクリックして選択します。どのトラックでもダブルクリックすれば、キャプチャを始めることができます。または、トラックを1回クリックしてから、「Capture」ボタンをクリックします。シングル・トラックを選択した場合、そのトラックの保存場所とファイル名の指定ができます。(音声は WAV ファイルとしてキャプチャされます。)

マルチプル・トラックを選択する

マルチプル・トラックの選択方法:

- ・「コントロール」キーまたは「シフト」キーを押しながら、Track Selection ウィンドウのトラックをクリックしていきます。

トラックは指定した保存場所に TRACKXX.WAV (XX はトラック番号を示す)として保存されます。

音質を指定する

音質の指定方法:

- Audio Quality ドロップダウンリスト・ボックスを選択して、音質のレベルを選択します。

音質は様々なレベルで選択することができます。一般的には音質が高いほど、キャプチャ時間が長くファイル・サイズが大きくなります。異なる音質レベルを選択した場合、Track Selection ウィンドウの Length の下に表示されるファイル・サイズが変化しますのでご注意ください。

Error Correction を指定する

音声キャプチャにおけるエラー修正の指定方法:

「Error Correction」バーをクリックしてドラッグします。

Plexor の CD-ROM ドライブは、音楽 CD のデータを忠実に読出しすることができます。当社のほとんどの新型 CD-ROM ドライブは最大 24 倍で音声をキャプチャすることができます。

ほとんどの場合、キャプチャされた WAV ファイルにノイズがのることはありません。

しかし、ご使用の CD に傷や脂っぽい指紋が付いていたり、粗製の CD の場合、ドライブは CD の品質に従ってエラーを読み取ってしまう可能性があります。こうした読み取りエラーは、キャプチャした WAV ファイルに雑音などの欠陥を発生させます。Audio Capture 2000 の Error Correction レベルを変更することで、ノイズのない高品質の WAV ファイルが作成されます。エラー修正は、0 パーセント(修正無し、デフォルトによる設定)から 100 パーセントの間に設定できます。

記:エラー修正は、Plexor の CD-R と CD-R/RW ドライブでは利用できません。

CD の欠陥が大きいと、完全な音声のキャプチャは困難を極めます。しかし、AudioCapture 2000 のエラー修正機能と各種の Plexor ドライブを使用すれば、完全な状態での書込みに限りなく近づくことができます。

エラー修正は、下記のような書込みスピードに影響を与えます。

- エラー修正が 0 パーセントの場合、ドライブはほとんど減速することなく、常に最速のパフォーマンスで音声を展開(エクストラクト)します。
- エラー修正が高レベルの場合、ドライブとソフトウェアは高品質を確保しますが、そのために使用する処理作業によって、キャプチャを完了する時間が長くなります。

アドバイス:通常、エラー修正を行う必要はありませんキャプチャをした WAV ファイルが低品質である場合を除いて、エラー修正の必要はありません。

5. DiscDupe 2000 を実行する

DiscDupe 2000 は CD のバックアップソフトウェアです。

DiscDupe 2000 の作動は Plextor 製品に限定されます。ソースとしては Plextor の CD-ROM ドライブや CD-R/RW ドライブが使用でき、バックアップ先ドライブとしては CD-R/RW ドライブの使用が可能です。ソースとドライブの双方に同一の CD-R/RW ドライブの使用も可能です。

DiscDupe 2000 のアプリケーション操作



- **About bar:** クリックすると、アプリケーションの情報を表示します。
- **Source drop-down list box:** クリックして、ディスクバックアップ用のソース・ドライブを選択します。

Select Operation panel:

- **CD to CD:** 1枚の CD からもう1枚の CD にバックアップします。CD-R/Rドライブが 1 台しかない場合は、「Use Temp Image」ボックスに自動的にチェックが入ります。
- **CD to Image:** CD からハードディスクのディスクイメージにバックアップします。
- **Image to CD:** ハードディスクにあるディスクイメージを CD にバックアップします。

Option panel:

Use Temp Image: バックアップの際、ソース・ディスクからディスク・イメージをハードディスクのテンポラリ・ファイルに読み取ってから、CD-R/RW ドライブに書き込みます。

Verify Disc: バックアップした CD からデータを読み取り、オリジナル・ディスクのデータと比較します。

Emulate/Test Mode: 実際にバックアップに伴なうすべての機能を実行しますがディスクへの書込みは行われません。

- **Destination drop-down list box:** ディスクをバックアップする先のドライブを選択します。

- **Start Copy button:** ディスクのバックアップを始めます。
- **Quit button:** アプリケーションを終了します。
- **Speed Select drop-down list box:** 書き込み速度を選びます。

CD から CD にバックアップする

CD ディスクへのバックアップ方法:

1. DiscDupe 2000 のドロップダウンリスト・ボックスを使用して、バックアップ元のドライブとバックアップ先のドライブを選択します。
2. 元になるディスクをバックアップ元ドライブに挿入します。このディスクは音楽 CD あるいはデータ CD です。
3. CD-R あるいは CD-RW ディスクをバックアップ先ドライブに挿入します。
4. 「CD to CD」欄をクリックして、使用可にします。
5. 「Start Copy」アイコンをクリックします。

CD-R/RW ドライブが 1 台しかない場合のバックアップ

CD-R/R ドライブがシステムに 1 台しかない場合の CD のバックアップ方法:

1. ハードディスクに十分な空き容量があることを確認します。
2. 使用する CD を CD-R/R ドライブに挿入します。
3. CD to CD フィールドをクリックして、使用可にします。Use Temp Image フィールドが自動的に設定されます。
4. 「Start Copy」アイコンをクリックします。DiscDupe 2000 がハードディスクに CD のテンポラリ・イメージを作成します。

記: バックアップ元のディスクが一杯の場合、ハードディスクには 700MB 以上の空き容量が必要です。

5. ディスクイメージが作成されてから、バックアップ元のディスクを CD-R/R ドライブから取り出し、ブランクディスクをセットし Enter キーを押します。
6. ハードディスクに作成したディスクイメージからブランクディスクにバックアップを開始します。

DiscDupe 2000 のオプションを使用する

本項目では、DiscDupe 2000 のオプションの使用法を説明します。

テンポラリイメージを使用する

Use Temp Image によって、ハードディスクの一時イメージ・ファイルを使用して、CD-R/Rドライブに書き込むことができます。このファイルは、バックアップの終了に伴い自動的に削除されます。

使用するディスクが損傷している場合、CD-to-CD バックアップには一時イメージ・ファイルを使用して下さい。Use Temp Image は CD をバックアップする最も信頼できる方法ですが、使用するディスクの品質が悪いと、余分な時間がかかります。使用するディスクのサイズにもよりますが、ハードディスクには 700MB の空き容量が必要です。

また Use Temp Image によって、バックアップ元とバックアップ先の双方に同一の CD-R/Rドライブを使用できます。

イメージを使用する

CD to Image のオプションは、ハードディスク上でユーザーが指定した保存場所にバックアップ元 CD ディスクのイメージを作成します。このイメージは、DiscDupe 2000 で CD-R/Rドライブに後から書き込む場合に限り有効です。

イメージは、1枚のディスクを複数バックアップする必要があるときや、ディスクの新しいバックアップが後になって必要になることが分かっている場合、特に役に立ちます。

Image to CD のオプションは、上記で作成されたハードディスクにあるディスクイメージを CD-R/Rドライブにバックアップします。

スピードを選択する

スピードが「Auto」にセットされていると、DiscDupe 2000 はバックアップ元ディスクの読み取りエラーを検査して、最速のデータ読み取りスピードを決定します(最速の読み取りスピードは、指紋、ディスク製造時の不良、傷に左右されます)。このソフトウェアは常に最速の読み取りスピードを探し出して、それに応じた書き込みスピードを設定します。スピードの変更が必要になるのは、バックアップ先に低品質のブランクディスクを使用しているか、Auto の速度設定を失敗して不良バックアップが作成された場合に限られます。

1X のスピードでも CD to CD による書込みが上手くいかない場合には、Temp Space のオプションまたは Image File のオプションを試して下さい。。これでハードディスクにイメージファイルを作成してから、CD-R/R ディスクに書き込みます。これによりディスクをバックアップすることができます。

Emulate/Test

Emulate/Test Mode を選択すると、CD-R/R ドライブは、ドライブのレーザーが作動しないだけで実際の複写のすべての機能を実行しますが、ディスクへの実際の書き込みは行われません。

システム構成を変更した後(新しい SCSI デバイス、新しいハードディスク、新しいソフトウェア、新しい SCSI コントローラなど)は、Emulate/Test Mode を使用します。これによって、変更が CD の書き込み能力に影響を与えていないか確認できます。また Test モードは、読み取りが上手くいかどうかははっきりしない汚れたり傷のある CD に使用します。これによって、その CD がバックアップに必要なスピードで読み取りが可能か確認できます。

バックアップしたディスクを確認する

Verify Disc のオプションを使用して、バックアップした CD からデータを読み取り、オリジナルのディスクと比較します。音楽 CD の確認は現行のバージョンでは対応していません。

バックアップの仕組み

DiscDupe 2000 で作成したすべての CD は Session-At-Once モードでバックアップされています。Session-At-Once はトラックまたはセッションの間で、CD-R/R ドライブのレーザーを止めることなく CD のバックアップをし続けます(つまり、レーザーはディスクの始まりでセットされて、そのディスクの終わりにたどりつくまで停止しません)。このモードは bit-for-bit と同等のバックアップの作成に最適です。

Session-At-Once モードは Disc-At-Once と同等のものですが、マルチ・セッション CD の正確な bit-for-bit バックアップを作成できます。

6. 高性能ドライブ・プロパティを使用する

Plextor Manager 2000 を Windows95/98/NT にインストールすると、マイコンピュータや Windows のエクスプローラに表示されるドライブ・アイコンに多少の変更が生じます。インストールによって、Plextor ドライブに右クリック・メニューのオプションが追加されます。また、そのプロパティ用のダイアログボックスも加えられます。

高性能ドライブ・プロパティの表示方法

Plextor Manager 2000 による高性能ドライブ・プロパティの表示方法:

1. Windows のマイコンピュータまたはエクスプローラを選択します。
2. マイコンピュータまたはエクスプローラで、Plextor ドライブ・アイコンを表示させます。
3. Plextor ドライブ・アイコンを右クリック (マウスの右ボタンをクリックすること) します。新しく Plextor Manager 2000 のアプリケーション選択を示すプルダウンリストが表示されます。新しい選択項目は下記の通りです。

Play/Play with MVP 2000:MVP 2000 のアプリケーションを起動させます。

Copy CD:DiscDupe 2000 を起動させます。

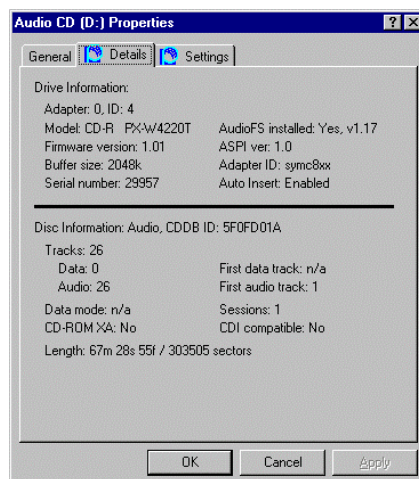
Extract Audio:Audio Capture 2000 を起動させます。

Properties:Plextor ドライブ用に高性能なプロパティを含む新しいダイアログボックスがあります。

4. 任意のアプリケーションを選択します。または、プロパティを選択して、プロパティのダイアログボックスを開きます。

高性能プロパティに関して

Plextor Manager 2000 のインストールによる高性能プロパティは、Plextor ドライブの情報を表示し、ドライブの操作性も一段と高めます。



Details タブ

詳細タブは、Plextor ドライブ、システム構成、ディスクの詳細な情報を表示します。情報の項目は以下の通りです。

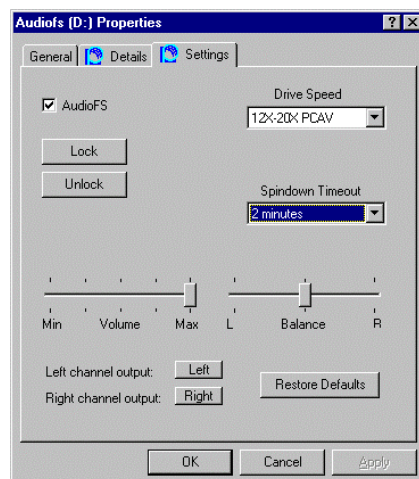
- SCSI アダプター
- ドライブ型番
- ドライブファームウェア・バージョン
- ドライブバッファサイズ
- ドライブシリアル番号
- ASPI バージョン
- 現行のドライブ設定

ディスクがドライブにある場合、Details タブはディスク情報も表示します。

- ディスクのフォーマット
- ディスクのトラック数
- トラックのタイプ (データまたは音声)
- Number of session :セッションの数
- メディアのメーカー名 (CD-R/R ドライブの場合のみ)
- メディアのタイプ (CD-R/RW の場合のみ)

Setting タブ

設定タブは Plextor ドライブの操作を拡張して、操作パラメータを変更することができます。



- **AudioFS チェック・ボックス:** AudioFS をオン(デフォルト)またはオフにします。AudioFS に関する情報は次の章をご覧ください。
- **ロック・ボタン:** ドライブをロックして、Plextor ドライブのフロントパネルの「eject」ボタンを使用不可にします。
- **アンロック・ボタン:** ドライブをアンロックして、Plextor ドライブのフロントパネルの「eject」ボタンを使用可にします。
- **Drive Speed:** クリックして、ドライブの読み取り速度を選びます。
- **Spindown Timeout:** 非アクセス時のスピン接続時間を選択することができます。
- **Volume Slider:** 音量を設定します。
- **Balance Slider:** 左右のチャンネルの音量バランスを変更します。
- **Left channel output button:** 左チャンネルのみ出力します。
- **Right channel output button:** 右チャンネルのみ出力します。
- **Restore Defaults:** ドライブの設定をデフォルトに戻します。

7.AudioFS を使用する

AudioFS は、Windows95/98 のシステムで、音楽 CD (Red Book CD-DA フォーマット・ディスク) のすべてのトラックを自動的に WAV ファイルの形式で表示します。これにより、音楽トラックをハードディスクにドラッグ・アンド・ドロップするだけで、簡単に素早く音声をハードディスクにキャプチャすることが可能になりました。

AudioFS の利点

AudioFS の使用することにより、MP3、Real Audio などのコンプレッション・フォーマットに変換する場合に作業時間を大幅に短縮することができます。また、音楽 CD の作成や編集にもとても便利です。

AudioFS を使用可にする

AudioFS を使用可にする方法:

1. Windows のマイコンピュータまたはエクスプローラを選択します。
2. マイコンピュータまたはエクスプローラから、AudioFS を使用する Plextor ドライブのドライブ・アイコンを表示させます。
3. Plextor ドライブ・アイコンを右クリックします。Plextor Manager 2000 アプリケーションの選択肢を表示するプルダウンメニューが表示されます。
4. プロパティを選択して、プロパティのダイアログボックスを表示させます。
5. プロパティのダイアログボックスで、Settings タブをクリックします。
6. Settings ダイアログボックスで、AudioFS のチェックボックスにチェックマークが付いていて、AudioFS が使用可になっていることを確認します。
7. 「OK」ボタンをクリックして変更を保存し、プロパティのダイアログボックスを終了します。

記: AudioFS は、Plextor Manager 2000 のインストール時にデフォルトで使用可となっています。また、Audio FS を有効、無効にするたびにトレイはイジェクトされます。(この動作はファイルシステムを更新するために必要です。)

記: AudioFS は Windows NT には対応していません。Windows 95/98 に限定されます。

音声のバックアップに AudioFS を使用する

AudioFS の使用方法:

1. AudioFS が使用可であることを確認します。
2. Plextor ドライブに音楽 CD をセットします。音楽 CD のボリューム・ラベルが AudioFS で表示されます。
3. マイコンピュータまたは Windows のエクスプローラで、ディスクを開きます。WAV ファイルのリストが(通常、音楽 CD を調べる際に表示される CDA ファイルの代わりに)表示されます。
4. これで、音声の WAV ファイルをハードディスクのフォルダーにドラッグ・アンド・ドロップできます。

AudioFS を使用不可にする

AudioFS を使用不可にする方法:

1. マイコンピュータで、AudioFS のボリューム・ラベルを示すドライブ・アイコンを右クリックします。
—または—
Windows のエクスプローラで、AudioFS のボリューム・ラベルを示すドライブ・アイコンを右クリックします。プルダウンリストが表示されます。
2. プルダウンリストから、プロパティを選択します。プロパティのダイアログボックスが表示されます。
3. Settings タブをクリックします。
4. AudioFS のチェックボックスのチェックを外して、AudioFS を使用不可にします。

デジタル・オーディオに USB スピーカーを使用する

デジタル・オーディオに対する USB (ユニバーサル・シリアル・バス) スピーカーの対応は Plextor Manager 2000 独自の機能です。この機能によって、USB スピーカー、Plextor ドライブ、Plextor Manager 2000 を備えた Windows 98 のシステムは、デジタル方式の音楽 CD が利用できます。データは、SCSI バスと USB ポートを経由して直接 Plextor ドライブから USB スピーカーに送られます。各社の SCSI CD-R, CD-ROM ドライブや ATAPI CD-ROM ドライブは、直接 USB スピーカーにデジタル音声を送ることができません。しかし、Plextor の製品はこの機能に対応する数少ない SCSI デバイスです。

記: この機能の対応は Windows 98 に限定されます。

なぜデジタル・オーディオを使用するのか？

通常ドライブは、ドライブの音声出力からサウンドカードにアナログ信号を送信しています。しかしこれには限界があります。2 台以上のドライブが接続されている場合、CD を再生するためだけにマシンを開け、アナログ信号の配線を別のドライブに接続し直すことはできないからです。いくつのデバイスがアナログ信号をサウンドカードに接続できるかには限界があるのです。

Plextor Manager 2000 と Plextor ドライブは、USB スピーカーを搭載した Windows 98 上でデジタル音声を再生できるようになっています。ハードウェアとソフトウェアの組み合わせにより、CD の音楽は SCSI バスから直接 USB スピーカーを通してデジタルに再生されます。これにより、通常サウンドカードと共に使用してきたアナログ・スピーカーからのサウンドとは比べ物にならない高音質のデジタル・サウンドを体験できます。デジタル音声では、配線による制限無しに、複数のドライブをソースとして使用することも可能です。

USB デジタル音声を使用するには

Plextor Manager 2000 USB がサポートするディスクには以下のものがあります。

- ． 標準 CD-DA (音楽 CD)
- ． CD エキストラのようなエンハンスド・音楽 CD
- ． オーディオ・トラックがあるマルチメディア・ゲーム CD

USB デジタル音声を 100% 使いこなすには以下のものがが必要です。

- ． USB がサポートされているパーソナルコンピュータ
- ． PC に Windows 98 がインストールされていること
- ． システムに USB スピーカーが搭載されていること
- ． システムに Plextor Manager 2000 がインストールされていること
- ． システムに Plextor ドライブがあること。使用可能な Plextor ドライブは以下の通りです。

CD-ROM

PX-4xCE, PX-8xCS 以降の Plextor CD-ROM ドライブ
(DM シリーズ、PX-4xCH, PX-4CS, PX-6xCS はサポート致しません。)

CD-R、CD-R/RW

PX-R412C, PX-R820T, PX-W4220T, PX-W8220T

USB デジタル音声を使用可にする

1. Windows 98 では「スタート」メニューから「設定」を選択し「コントロールパネル」の「マルチメディア」アイコンをクリックします。マルチメディア・プロパティのダイアログボックスが表示されます。
2. プロパティ・ダイアログボックスで CD Music タブを選択し Enable Digital Audio をチェックします。

3. さらにプロパティのダイアログボックスで、音楽を再生するときの Plextor ドライブをデフォルトとしてドライブの指定にアルファベットを入力します。
4. 「OK」をクリックしてマルチメディア・プロパティのダイアログボックスを終了させ、USB デジタル音声を使用可にします。

Windows 95 ユーザーと AudioFS WAV ファイル

Plextor Manager 2000 をインストールすると、一連の WAV ファイルは MVP 2000 で使用できるように設定されます。デフォルトのままにすると、Plextor Manager 2000 はたいていのマルチメディア・ファイルのデフォルト・プレイヤーとして設定されますので、このセクションを読まれる必要はありません。

MVP 2000 で一連の WAV ファイルを使用不可にすると、WAV ファイルの再生用に別のプレイヤーを指定しなければなりません。

- ・ Windows 95 のデフォルトである Sound Player を使用している場合は、このまま読み進めて下さい。その他のプレイヤーを使用されている場合は、このセクションをとばして下さい。

Windows 95 サウンド・ユーティリティ

Windows 95 には WAV サウンド・ファイルを使用する様々なユーティリティがあります。例えば：

- ・ Media Player で WAV ファイルを再生します。(MPLAYER.EXE)
- ・ Sound Recorder で WAV ファイルを再生、編集、書込みできます。(Sndrec32.exe)

Sound Recorder について

Windows 95 で Sound Recorder がデフォルト・プレイヤーに設定されている場合は、WAV ファイルをクリックしたときに起動します。しかし、WAV ファイルがすべてメモリに(通常のマシンではハードディスク上にスワップ・ファイルとして)読み込まれるまで再生は始まりません、時間がかかりかかります。事実、Sound Recorder が作動していないように表示されます。

この点を改善するために、WAV ファイルのデフォルト・プレイヤーを Sound Recorder から MVP 2000 へ、または Media Player に変更することをお奨めします。これらのユーティリティーはいずれも、キャッシュせずに直接 WAV ファイルを再生します。

以下では、Windows 95 で MVP 2000 または Media Player をデフォルト・プレイヤーに変更するための手順を紹介します。

デフォルト・プレイヤーに変更する

デフォルト WAV プレイヤーから MVP 2000 に変更するには

・「スタート」の「プログラム」から「Plextor Manager 2000」の「MVP 2000」を選択して MVP 2000 を起動させます。

- 1, MVP 2000 が起動したら Options ボタンをクリックします。
- 2, Associations と表示されたタブをクリックします。
- 3, WAV チェックボックスにチェックが付いていることを確認して下さい。
- 4, OK ボタンをクリックします。
- 5, MVP 2000 を終了します。

注意:変更を有効にするには Windows を再起動して下さい。

デフォルト WAV プレイヤーを Media プレイヤーに変更するには

1. 「マイコンピュータ」をクリックします。
2. タスクバーから「表示」を選択します。
3. 「表示」のメニューから「オプション」を選択します。
4. オプションのダイアログボックスから「ファイルタイプ」タブを選択します。
5. Registered File Types をスクロールし、Wave Sound アイコンを捜します。
6. Wave Sound アイコンをダブルクリック、または Edit (編集)を選択します。
7. Edit File Type ダイアログボックスから Play Entry をダブルクリックするか、Play Entry をクリックし Edit を選択します。
8. new edit ウィンドウがポップアップしますので、c:\windows\sndrec32.exe を c:\windows\mPlayer.exe に変えて下さい。

警告:このウィンドウ内のコマンド・ライン・パラメータは修正しないで下さい。

9. 「OK」をクリックします。
10. 変更を完了させるには、その後の 2 つの選択で Close をクリックして下さい。

この時点でマシン上の WAV ファイルなら (AudioFS で作成されたもののみ) どれでもダブル・クリックできデフォルト・プレイヤーが自動的に再生します。

注意:Windows 98 での WAV ファイルは、まるで Media プレイヤーのように Active Movie プレイヤーで再生されます。

8, お問い合わせ先

PlextorManager2000 についてのご質問、等は以下サポートデスクまでご連絡下さい。

〒103-8286

東京都中央区八重洲1-4-21 共同ビル(東京駅前)8階

プレクスター株式会社 サポートデスク

電話:03-3517-8064

FAX:03-3517-8065

e-mail : support@plextor.co.jp

受付日 : 月曜日～金曜日(土、日、祝日は休み)

受付時間:AM : 9:30～PM : 5:00 (PM : 12:00～PM : 1:00 は休憩時間)

お問い合わせいただく前に、以下の情報をできるだけご用意下さい。

- ドライブのシリアル番号と TLA 番号。
(シリアル番号はドライブと一緒に梱包されてくる保証書、またはドライブ本体のラベルに記載されています。TLA 番号はドライブのラベルと内蔵ドライブ背面のシールに記載されています。)
- ご使用の Plextor Manager のバージョン
- ドライブにロードしたファーム・ウェアのバージョン
- SCSI カードのメーカー名と型番(例: Adaptec 社製 AHA-2940、Advansys 社製 ABP-930UA)
- SCSI カードに添付されたソフトウェア・デバイス・ドライバがある場合は、そのバージョン
(通常デバイスドライバが納められているフロッピーのラベルに記入されています。)
- ご使用の Windows、DOS その他の OS のバージョン
- パソコンのブランド名および型番
- ご使用の VGA、Super VGA、あるいはその他のグラフィック・カードのタイプ
- マシンに接続またはインストールしている周辺機器のブランド名と型番(例: CD-ROM、
スキャナー、FAX ボード、ネットワークカード)